

エコアクション21
環境経営レポート

活動期間 2023年4月～2024年3月



(第2版)

発行日 2024年6月8日

株式会社 ダイナン

目 次

1. 2023年度活動概要	1
2. 組織の概要	2
3. 実施体制	3
4. 環境経営方針	4
5. 環境経営目標	5
6. 環境経営目標の実績と評価	6
7. 環境経営計画の取組状況とその評価	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反・苦情・指摘等の有無	8
9. 外部コミュニケーション実績	9
10. 環境教育訓練実績	9
11. 代表者による全体評価と見直し指示	10
別紙1 CO2排出実績	
別紙2 緊急事態対応訓練	

1. 2023年度活動概要

2023年4月にEA21活動をキックオフし、全社取組みとしての環境活動を開始しました。

活動初年度である2023年度は、活動計画の推進に停滞があったものの、概ね推進することができました。

環境経営目標の達成状況については、一部の項目において未達成がありましたが、目的である

CO2排出量については、目標91,163kg-CO2に対し、実績80,928kg-CO2

(目標比-10,235kg-CO2)と活動初年度ではありますが、目標を大幅に上回る結果となりました。

要因としては、従業員の省エネ意識の高まりと、以前より順次進めてきた空調機の更新及び

照明のLED化等のハード対策の相乗効果が大幅な達成要因として捉えています。

また、環境に関係した事故及び地域や行政等の利害関係者からの苦情や指摘・要望はなく、良好な状態を維持することができました。

今後も継続した取組みにより活動レベルのスパイラルアップを図ります。

2024年6月8日
株式会社 ダイナン
環境管理責任者

2. 組織の概要

①事業者名、代表者名

株式会社 ダイナン
代表取締役 但馬史晴
創 業 1972年 6月
設 立 1972年12月
資本金 1,000万円

②所在地(本社)

〒879-7761
大分県大分市大字中戸次4539-15

③環境管理責任者名及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役
担当者 環境事務局
連絡先 電話 097-597-7777
FAX 097-597-5323

④事業内容

- ・繊維製品の製造加工（裁断、2次加工、縫製、検品、仕上げ、出荷）
- ・刺繍
- ・衣料縫製用機器の製造及び販売
- ・洋服のデザイン及び仕立

⑤事業規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	395	326	364	377
従業員数	人	85	87	90	94
床面積	m ²	3,234	3,234	3,234	3,234

⑥事業年度

4月～3月

⑦対象範囲

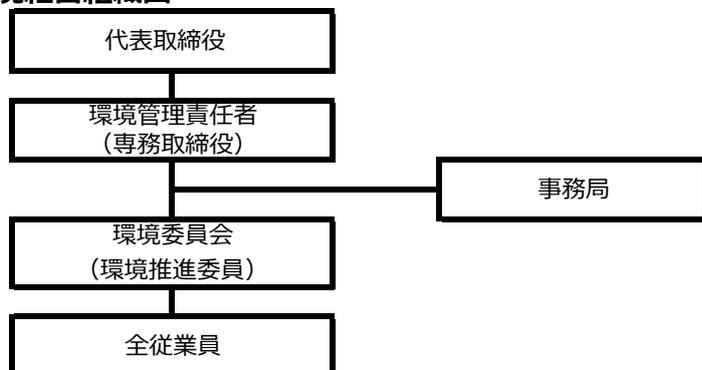
全組織、全活動

3. 実施体制

作成日：2023年3月23日

更新日：2023年5月23日（環境管理責任者変更）

環境経営組織図



エコアクション21に関する役割と責任及び権限

区分	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境管理責任者を任命する ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境経営方針を策定（更新）する ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体評価及び目標見直し指示を実施する ・環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・環境委員会を統括する ・環境関連法規等の取り纏め及び遵守評価結果を承認する ・各部門の環境経営目標、環境経営計画、実施体制を承認する ・環境上の緊急事態を特定し、対応策を承認する ・問題点に対する是正処置、再発予防処置を承認し、結果を評価する ・環境経営レポートを確認する
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐する ・環境委員会の事務局を兼ねる ・環境関連文書類を作成及び管理する ・環境経営に関する目標や実績を取り纏める ・外部コミュニケーションに関する受付窓口を担当する ・環境経営レポートを作成する
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画を共有する ・効率的な活動を推進するため、部門の連携を図る ・環境活動に関する取り組み状況や課題を報告、共有する ・環境教育、環境コミュニケーションを計画、実施する
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の環境経営目標、環境経営計画を作成し、取り組み推進する ・自部門の環境経営システム運用状況を、推進委員会に報告する ・自部門の活動に必要な手順書を作成、管理する ・自部門の問題点を抽出し、是正、予防処置を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などを理解し、自らの役割を認識する ・環境活動に自主的、積極的に参加し、改善提案に努める

4. 環境経営方針

■ 経営方針

弛まぬ努力と絶え間ない改良を積み重ね、社会やお客様から共感され信頼されるダイナンをつくる

■ 環境方針

株式会社ダイナンは、人々が生活する上で大切な地球環境について考え、持続可能な社会の実現に貢献するため、事業活動全体においても技術的・経済的に可能な範囲で、自主的、積極的に環境に配慮した取組みを全社員で推進します

1. 次の項目を重点項目として取組み、実施状況や結果を定期的に評価したうえで、継続的改善に努めます
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素の削減に取り組めます
 - (2) 廃棄物排出量の削減に取り組むとともに、リサイクル促進に努めます
 - (3) 水資源を大切にして、節水に取り組めます
 - (4) 環境に配慮した製造工程や製品及びサービスの提供に取り組めます
 - (5) 地域社会の一員であることを自覚し、良好な周辺環境の維持向上に努めます
2. 当社の事業経営に関連する環境関連法規等を遵守します
3. 環境経営レポートの定期発行により、社員に周知し環境情報を公開します

制定日 2023年4月1日
株式会社 ダイナン
代表取締役 但馬 史晴

Dainan

5. 環境経営目標・実績及び中期目標

環境経営目標	単位	基準年 2021年度	2023年度目標及び実績			中期目標	
			期間：2023年4月～2024年3月			2024年度 (2%削減)	2025年度 (3%削減)
		2021年4月～ 2022年3月	目標	実績	削減率 (%)	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月
			目標 基準年-1%	実績	削減率 (%)		
1. 二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	92,037	91,117	80,925	(11)	90,196	89,276
(1) 電気使用量削減	kWh	183,265	181,432	158,635	(13)	179,600	177,767
(2) ガソリン 使用量削減	ℓ	1,027	1,016	1,214	19	1,006	996
(3) 軽油使用量削減	ℓ	1,447	1,433	1,459	2	1,418	1,404
(4) 液化石油ガス (LPG) 削減	kg	51	51	34	(33)	50	50
2. 廃棄物排出量の削減	t	11	10	25	143	10	10
一般廃棄物排出量削減	kg	データなし	-	※1) 206 25.6/月	-	302	298
産業廃棄物排出量削減	kg	10,527	10,422	24,997	140	10,316	10,211
3. 水使用量の削減	m ³	270	267	371	39	265	262
4. 周辺環境整備		実績なし	年2回	0回	-	年2回	年2回

※CO2排出係数：0.468kg-CO2/kWh（日本テクノR3年度実績 基礎排出係数）

※1）2023年8月～2024年3月の実績値（8ヵ月実績）

6. 環境経営目標の実績と評価、次年度取組み案

対象期間 : 2023年4月～2024年3月

評価基準 : ●100%以上 ▲90%以上100%未満 ×90%未満

環境方針 番号	選択課題	基準年度 (2021年度)	2023年度目標 基準年度比▲1%	2023年度実績	目標達成率	評価
1- (1)	CO2排出量 (kg-CO2)	92,037	91,116	80,925	112.6%	●
	(2023年度の取組み) 電気使用量の削減効果により、目標を達成 CO2排出量内訳 (kg)			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・CO2排出量の92%を占める電気使用量を中心とした省エネ啓蒙活動および老朽化設備の計画的な更新によるハード対策の両輪で活動を推進		
	電気	ガソリン	軽油	LPG		
	目標	84,910	2,358	3,696	152	
	実績	74,241	2,816	3,764	103	
1- (1)	電気使用量 (kWh)	183,265	181,432	158,635	114.4%	●
	(2023年度の取組み) ・基準年度(2021年度)以降に順次実施した、照明のLED化や空調機の更新等の効果により、単年度のみならず中期目標を超える実績となった			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・2023年度の効果の定着と及び老朽化設備更新のハード対策とノー残業デーの実施		
1- (1)	ガソリン使用量 (ℓ)	1,027	1,016	1,214	83.7%	×
	(2023年度の取組み) ・省エネドライブや月度毎の使用量の掲示などの啓蒙活動を実施			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・啓蒙活動と使用量監視の継続		
1- (1)	軽油使用量 (ℓ)	1,447	1,433	1,459	98.2%	▲
	(2023年度の取組み) ・省エネドライブや月度毎の使用量の掲示などの啓蒙活動を実施			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・啓蒙をと使用量監視の継続		
1- (1)	LPG使用量(kg)	51	51	34	148.2%	●
	(2023年度の取組み) ・生産工程でのLPG使用がなく、給湯のみであるため使用量実績を掲示するなどの啓蒙活動を実施。企業活動におけるLPGの環境負荷はCO2全排出量の0.13%			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・企業活動全体に占めるLPGの環境負荷は非常に小さいため省エネの啓蒙活動と使用量の監視		
1- (2)	産業廃棄物排出量 (kg)	10,527	10,421	24,997	41.7%	×
	(2023年度の取組み) ・目標超過の主な原因として、倉庫の片付けによる不用品10,000kg(主に廃プラ)を廃棄。また、基準年との生産背景に違いによる廃棄量の増加も未達要因			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・活動1年目の実績のため、中期計画目標値の見直しはしない。廃棄物についての社員への啓蒙活動に取組む		
1- (2)	一般廃棄物排出量 (kg)			205		
	(2023年度の取組み) ・2024年9月より一般廃棄物の計量を開始 8月～3月末迄の7カ月間の廃棄量実績を次年度以降の目標の基準値とする			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: 新規設定 ・2023年度8月からの7カ月間の実績から、349kg/年の目標を設定。分別の更なる徹底に取組む		
1- (3)	上水使用量 (m)	270	267	371	72.0%	×
	(2023年度の取組み) ・上水施設の不具合2件(ポンプ故障、屋外バルブ不具合)の発生により約150mが漏水したため目標値を大幅に超過			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・生産工程での水使用はないため、衛生等に問題が無い範囲での節水啓蒙活動の継続と使用量の監視		
1- (4)	良好な周辺環境の維持		周辺清掃活動 年2回	23年度実績なし	0/2回	×
	(2023年度の取組み) ・周辺の交通状況等から活動の安全を確保が難しく未実施			(2024年度の取組み) 目標値の見直し: なし ・従業員の環境マインド向上と周辺環境保護を目的としたアパレルメーカーらしさのある活動		

※CO2排出係数: 0.468kg-CO2/kWh (日本テクノR3年度実績 基礎排出係数)

7. 環境経営計画の取組み結果とその評価

評価基準： ●できた ▲一部達成（一部着手） ×できなかった（未着手）

環境方針番号	目標課題	具体的な行動（活動）	評価	活動内容等
1-(1)	電気消費量削減	1. 機器の待機電力削減 2. エアコンの効率的な運転管理 3. 残業時や休憩時間の不要照明消灯	● ● ●	長期休暇前不要プラグ抜きPR時実施 定期点検の実施
1-(1)	ガソリン消費量削減	1. 乗車前点検の実施 2. エコドライブの実践 3. 給油時のタイヤ空気圧確認	● ● ●	点検表で運用
1-(1)	軽油消費量削減	1. 乗車前点検の実施 2. エコドライブの実践 3. 給油時のタイヤ空気圧確認	● ● ●	点検表の運用
1-(1)	LPG使用量削減	1. 使用量の監視	●	見える化（グラフ）して使用量を監視
1-(2)	廃棄物排出量削減	1. 仕損品の低減 2. 裏紙利用の促進 3. 分別の徹底	● ● ●	班単位での工程改善活動推進中 継続推進 継続推進
1-(3)	水使用量の削減	1. 異常の早期発見・対応（定期点検） 2. 節水啓蒙活動	● ●	環境掲示板で使用状況等情報発信
1-(4)	良好な周辺環境の維持	1. 周辺清掃活動 2. 地域行事への参加（CSR活動） 3. 外部コミュニケーション（苦情・指導）	× ● -	未実施 県障害者技能競技大会洋裁競技への支援（競技運営スタッフの派遣等） 地域、行政等からの苦情・指導なし
2	環境関連法規等の遵守	1. 関連法規等の把握と管理 2. 遵守評価の実施と不適合の是正	● ●	チェックリストを作成し運用 不適合なし
3	環境情報の公開	1. 環境レポートの発行 2. 従業員への周知	● ●	第1版（試行期間）、第2版 環境掲示板を設置し、環境レポートの他、電気・LPG等の月度使用量、環境関連イベントの情報を掲示
4	環境に配慮した工程や製品、サービス	1. 製造工程改善による効率UP	●	班単位での工程改善活動を推進中
他	緊急事態対応	1. 緊急事態の特定 2. 緊急事態対応訓練の実施	● ●	火災を緊急事態として特定 2023年11月に第一回訓練を実施

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反、苦情・指摘の有無

1. 環境関連法規等遵守確認結果

■確認年月日：2024年4月26日

■確認実施者：事務局

■確認結果総括

・違反となるような事象なし

■評価凡例： ●（違反なし） ▲（改善要） ×（違反状態） —（評価なし）

法令名称	チェック項目	評価	確認した記録・証跡/改善要及び違反内容
1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	1 廃棄物の保管、保管基準	●	保管場所表示
	2 処理委託先管理	●	優良事業所認定確認
	3 契約書管理	●	取引先の変更、許可期限切れなし
	4 マニフェスト管理	●	電子マニフェストで管理
2 家電リサイクル法	1 特定家電製品の廃棄	—	該当事象の発生なし
3 資源有効利用促進法	1 業務用PCの廃棄	—	該当事象の発生なし
4 浄化槽法	1 保守点検	●	点検記録票確認
	2 法定点検の受検（11条検査）	●	2023年6月20日受検 検査結果書
	3 記録の保存	●	記録ファイルで確認
5 消防法 大分市火災予防条例	1 消防計画	●	組織変更による消防計画変更届（11月9日付）
	2 消防設備の維持管理	●	消防設備点検報告書（2023年5月・11月実施）
6 電気事業法	1 受電設備の維持管理	●	点検測定記録票
7 フロン排出抑制法	1 第1種特定製品のリスト化と管理担当者の選任	●	実施記録及び帳票
	2 機器毎の点検・整備記録の簿作成と簡易点検の実施	●	
	3 全ての記録を廃棄後3年保存	●	
8 騒音規制法 振動規制法 大分市騒音防止条例	1 特定施設設置の届出 空気圧縮機定格7.5kW以上	●	届出事項に変化なし
9 道路運送車両法	1 日常点検の実施	●	点検表
	2 定期点検（1年毎）の実施	●	整備記録
10 大分市小規模貯水槽 水道維持管理指導要綱	1 貯水槽の定期清掃（年1回）	●	2023年12月9日実施 点検清掃実施報告書
	2 貯水槽の定期点検	●	
	3 水質検査の実施（年1回）	●	2023年12月9日実施 水質検査報告書
2. 地域や行政等からの指摘、苦情の有無 ……なし			

9. 外部コミュニケーション実績

2023年度実績・・・1件

月	日	コミュニケーション先	コミュニケーションの内容
12	12	お取引先	・お取引先からのライフサイクルアセスメントの取組み説明と電気、LPG、上水使用量実績の提供依頼

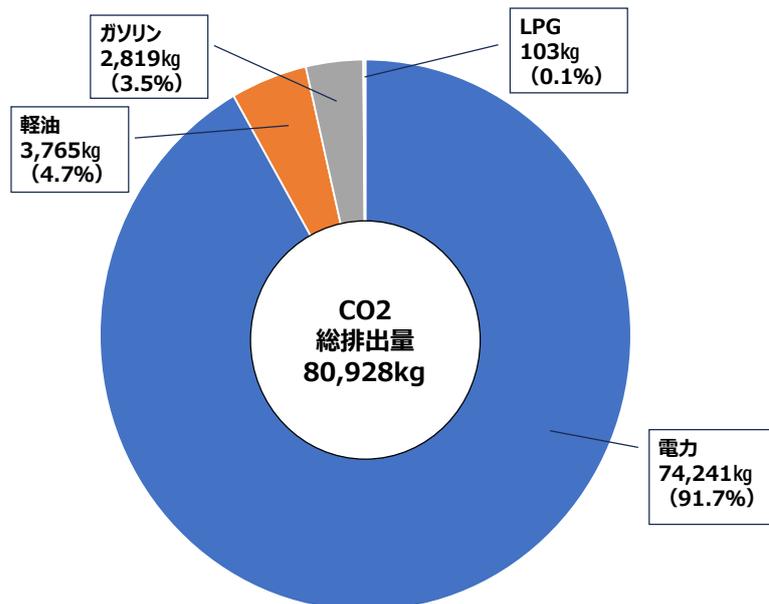
10. 環境教育訓練実績

教育名称	実施日	対象者	実施者	内容
緊急事態対応訓練	11月	全従業員	防火管理者 安全衛生委員会	大地震による火災を想定し訓練を実施 ・防御体勢、通報、放送、避難誘導、 利害関係者への連絡等 詳細は別紙 2
環境教育	4月	全従業員	社長	エコアクション21活動キックオフ ・活動体制、目的・目標等の周知
新入社員教育	11月	新入社員1名	環境事務局	新入社員教育資料に基づく教育 ・環境活動に取り組む理由、目的・目標など
環境担当者教育	3月	各課環境担当者	社長 環境管理責任者 事務局	エコアクション21活動の内容 実施体制 環境経営計画 環境負荷状況など
	5月			
	7月			
環境機器・施設教育	11月	設備管理担当者	事務局	フロン排出抑制法の遵守事項
環境意識高揚活動	10月～	全従業員	事務局	環境掲示板設置による各種環境情報の 発信

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示			
代表者による全体の評価と見直し・指示の結果			
実施日	2024年5月1日	場所	会議室
出席者	代表者、管理責任者、事務局		
①環境管理責任者から代表者への報告と、代表者のコメント			
環境情報	環境管理責任者の報告と所見	代表者の評価・コメント	
1 環境経営目標の達成状況	CO2排出量は目標を大幅に達成して、3か年の中期目標を達成しているが、活動初年度であることや、生産背景の違い等もあるため見直しは行わない、原単位等の新たな指標による管理を検討する	中期目標の継続は了解。 原単位等の新たな管理指標については、実情に合致した最適な指標を選択すること	
2 環境経営計画の実施および運用結果	事業所周辺の清掃活動など未実施項目があり、計画に沿った活動ができていない。	未実施となった周辺清掃活動については、従業員の環境意識高揚とアパレルメーカーらしさのある、活動を検討し実施すること	
3 環境関連法規などの遵守状況	法条例違反に該当する事象の発生なし	了解	
4 外部からの環境に関する苦情や要望	なし	了解	
②代表者による全体の見直し			
代表者は、経営上の課題とチャンスで明確化した内容を踏まえ、環境への取組や経営システムにおいて、更に発展強化させる点、改善すべき点を抽出する			
見直し事項	具体的な内容		
1 代表者が経営における課題とチャンスで、明確化した内容	経営環境に厳しさはあるが、アパレル製造の国内回帰トレンドやアパレル以外の縫製製品の需要などはビジネスチャンスと捉え、当社の強み（技術力、対応範囲の広さ）を活かした取組みを進める		
2 環境への取組みや環境経営システムにおいて、更に発展強化させる点	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員に向け、環境取組みへの意識向上を目指し、まずは教育の機会をもつこと、日々の生産活動での改善が、環境への負荷軽減であることの理解を高めながら推進を図ること ・事業活動の変化と改善による効果からのCO2排出量増減の評価指標 		
3 環境への取組みや環境経営システムにおいて改善すべき点（上記1より）	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル以外の環境に配慮した自社製品開発も視野にいれて取り組む。同業で環境取組みを実施・公表しているところが少ないこともあり、環境取組みに積極的な顧客との取組みを推進 ・アパレルメーカーらしさのある活動と事業運営と一体となった取組み 		
上記②の見直しから、下記1～4の変更を具体的に指示する			
項目	変更あるいは継続の指示内容		
1 環境経営方針	・継続とする		
2 環境経営目標	・目標（管理指標）に原単位を追加すること		
3 環境経営計画	・地域活動は、アパレルメーカーらしさのある活動を取り入れる		
4 実施体制	・継続とする		
5 その他	・既存の社内活動と環境の関連がわかる活動		

別紙 1 CO2排出状況

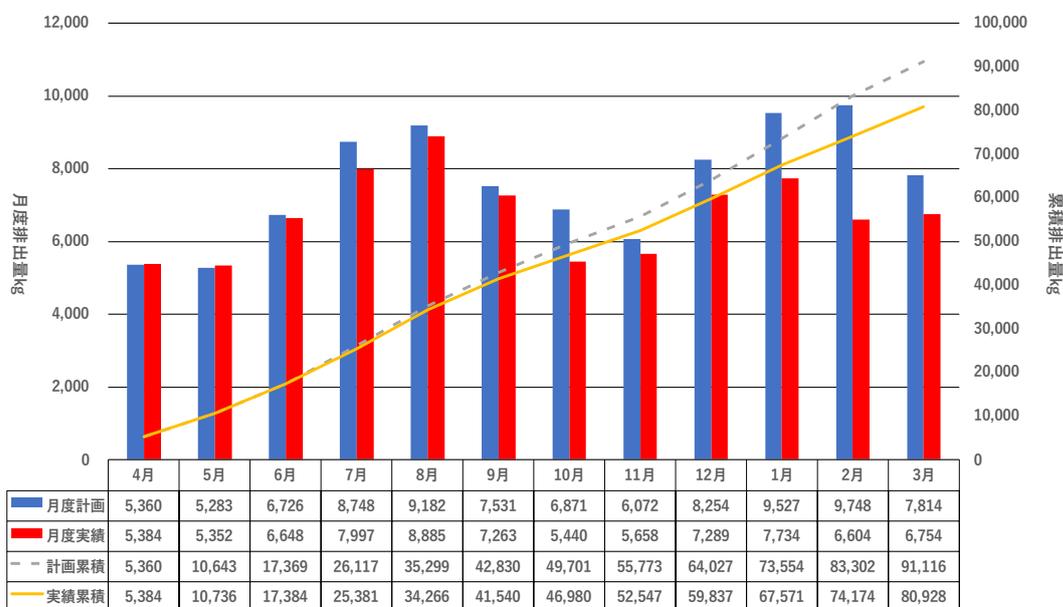
2023年度 CO2排出量内訳



製造プロセスにおいて電気以外の使用がなく、ガソリン/軽油については車両用燃料、LPGは給湯用で使用。

2023年度 CO2排出量推移

電気、LPガス、ガソリン、軽油の各消費量をCO2排出量に換算し合計した数値です



機器のこまめな運転管理と、老朽化した空調機の更新や照明のLED化の効果による電気使用量の抑制により、目標値を大幅に超えるCO2排出量削減となった

別紙2 緊急事態対応訓練

■ 火災を緊急事態として特定し、2023年度は大規模地震による火災発生想定した訓練を実施

・以下、訓練の内容

- ①地震発生時の身体安全確保
- ②火災発生を想定した、通報・初期消火・避難・点呼
- ③近隣住民及び事業所への連絡
- ④地震・火災収束後の利害関係者への連絡
- ⑤消火器具・避難器具野取り扱い

緊急事態対応（防災）訓練（2023年11月14日）

点呼



点呼完了報告



安衛委員会議長講評



消火器取扱い説明



消火栓取扱い説明



避難器具（緩降機）説明

